

開校準備だより

令和4年11月28日発行
加古川市教育委員会



花＊花さんが両荘地区を訪問しました

両荘みらい学園の校歌を作詞・作曲していただく花＊花のおのまきこさん、こじまいつみさんが、10月28日に両荘地区を訪問しました。校歌制作に向けてイメージを膨らませるため、加古川大堰、国包の鉄橋、漕艇センター、常楽寺、みとろフルーツパーク、平之荘神社、平荘湖をめぐるしました。さらに平荘小学校、上荘小学校、両荘中学校を訪れ、各校の児童生徒から応募した校歌フレーズやフレーズに込めた想い、両荘みらい学園に対する想いなどを直接花＊花さんにお伝えしました。



市長・教育長への表敬訪問



両荘地区めぐり

また、開校準備委員会にもご出席いただき、校歌に入れていただきたいフレーズなどについて、委員の皆様と意見交換を行いました。

児童生徒との交流や開校準備委員会委員との意見交換などを通じて、花＊花さんに両荘地区のことや両荘地区に対する皆様の想いなどについて知っていただくことができ、校歌制作へのイメージを膨らませていただく機会となりました。今後は、この訪問で感じられたことや応募いただいたフレーズをもとに校歌の制作を行っていただきます。

これらの取組の詳細は、市ホームページをご覧ください。
【お問い合わせ】加古川市教育委員会 教育総務課
〒675-8501 加古川市加古川町北在家 2000
TEL : 079-427-9336 FAX : 079-421-4422





平荘小学校

進藤校長先生から、現在の校歌についてお話がありました。また、児童からは、校歌に入れたいフレーズや両荘みらい学園をどんな学校にしたいかについて、花*花さんにお伝えしました。



上荘小学校

児童代表から小学校での取組や応募した校歌フレーズについて発表がありました。また、上荘小学校がどんな学校なのかについて、各学年が工夫をこらした内容で発表しました。



両荘中学校

応募したフレーズや校歌に入れたいフレーズを発表。花*花さんから生徒に「大人になっても忘れたくないものは？」と質問がありました。また、保護者や地域の方が両荘みらい学園への想いを伝えられました。

校歌に入れていただきたいフレーズを選定しました

第8回開校準備委員会において、応募された校歌フレーズについて話し合いました。花*花さんから、「9年間歌うことになる校歌。卒業後もふるさとや友達の顔が思い出せるような校歌にしたい」とコメントをいただきました。委員長からは『必ず入れてほしいフレーズ』ではなく、『できれば入れていただきたいフレーズ』として選定し、花*花さんは作詞・作曲を妨げない範囲で参考にしていただきたい」といった発言がありました。

選定されたフレーズと併せて、皆様から応募いただいたフレーズ全てを花*花さんにご覧いただき、作詞・作曲の参考にしていただきます。

両荘みらい学園の校歌は、令和5年12月頃の完成を予定しています。

選定フレーズ	応募者がフレーズに込めた思い	選定理由
加古の流れ	両荘中学校、平荘小学校、上荘小学校の校歌に共通するワードで、加古川のシンボルとして入れたい。	両荘中学校、平荘小学校、上荘小学校の校歌にも使われており、皆が慣れ親しんだフレーズであるため。
いつくしみ 思いやり	仁は中国古典の論語の中で使われており、「いつくしみ、思いやり」という意味。今後も両荘みらい学園から仁者を多く育成していただきたい。	仁が意味する「いつくしみ、思いやり」を持った子どもたちを育てることを両荘地区では大切にしてきたため。
「上」、「荘」、 「平」、「荘」 の文字を歌詞 に散りばめる	上荘小学校、平荘小学校が一貫となり、名前がなくなってしまうことから校歌のフレーズに残せないかと思いを考えた。	「見 上 げる空は美しく 壯 大な未来が見えている 緑豊かな 平 野には 爽 やかな風が吹き抜ける」に「上荘」、「平荘」という意味が込められている点が魅力的であるが、長すぎるためアイデアを取り入れる。